

前 へ

～ Go Forward With ～

明石市立魚住丘中学校

2025 年(令和 7 年)10 月 17 日号



『桃栗三年柿八年』とよく言われます。『桃や栗は植えてから 3 年たたないと実を結ばず、柿にいたっては 8 年もの歳月が必要になるのだ』ということを表しており、これが転じて『簡単には一人前になれず、ひとかどの人物になるには努力が必要だ』という意味合いで使われるようになりました。

皆さんも新しい学年になり頑張ってきたこと、そして、夏休みに努力をしたことがそろそろ実を結び始める頃です。特に、2 学期は集団に関わることが多くあり、様々に悩んだりすることが多い時期です。しかし、その揉まれて悩むことは成長している証拠です。揉まれて悩んで確実に強くなっています。逞しい表情になってきましたよ。

体育大会に臨んで

絶好の天気とは言えませんでした。皆さんの「安全」を重視する（今年の暑さ、熱中症対策の観点など）ことから「いい天候」でした。途中、しっかり雨が降りましたが何とか無事に終了することができました。各係の皆さんのおかげで、コンディションが保たれ、最後まで実施できたこと、改めてありがとうございました。

1 日遅れの実施で、モチベーションやテンションが上がりきらずに開会を迎えましたが、やはり皆さんのパワーは後半にものすごい力を発揮します。そうです、皆さんのエンジンはとても大きくて強力なのです。温まるのに時間がかかるのです。予想通り、演技が進むにつれて、皆さんのモチベーションやテンションが徐々に上がってきました。さすがです。また、係活動も仲間や先生とともに懸命に頑張れました。生徒会を中心に、先生と生徒が一緒に作り上げた、そんな素晴らしい体育大会でした。

さて、これからの世の中は、先行きが見通すことのできないと言われています。つまり、予想していたことが常に変わっていく、変化が目まぐるしく予測がつかないのです。今回の体育大会も予想とは異なった天候により、準備していた通りにいかなくなりました。そんな時でも、生徒や先生と協働して最適な対応をしていった場面がたくさんありました。そんな姿はほんとうに「逞しい」。今後もそのような考え方はもっていてほしい、また、伸ばしてほしい力です。

体育大会以上の学級の深め合った姿を、また、文化祭で見ることを期待しています。



2学期とは・・・充実・飛躍の学期になっていますか？

覚えていますか？1学期は「知り合う」、2学期は「深め合う」学期です。行事が多い時期であるため、そのように言われます。そのことを各自が十分に考え、実りのあるものにしていきたいものです。

3年生は、大半の生徒が部活動を引退し、いよいよ受験勉強本番！！という緊張感のにじみ出てくる時期です。気分ばかりがあせるのに進まない勉強、コントロールしにくい自分自身に怒りの気持ちが爆発しそうになる・・・そんな日々もあることでしょう。

2年生は新人大会の真っ只中。また、すでに夏の総体に向かって・・・という皆さんもいるでしょう。目標が遠いからちょっと違うことに・・・そんな日々もあることでしょう。

1年生は学校に慣れてきたがゆえに「ダレて」しまっていないですか。そんな日々もあるでしょう。

だからこそ求められるのが、学校生活において、クラスや学年で団結して行事を成功させること、そして、家族の一員としてのつながりが、皆さんの心にゆとりを与え、勉強や部活動にもはずみがつき、生活のリズムができてくるのです。

自分だけではなく、クラスのみんなの進路を全員の優しさで切り開く。できるだけ勉強や成績の悩みもオープンにして交流し合う。そして、心から励まし合ってこの時期を乗り越えて欲しい。そうすることで、仲間が前進するのみでなく、自分自身の飛躍にもつながっていく・・・そのように私は思います。



なんでだろう???

なぜ合唱をしているのだろう・・・。「勝つ」ため？「連合音楽会」に行くため？それだけですか？では、勝てなければ、連合音楽会に行けなかったら・・・。体育大会もそうですが、大会本番まで学級で様々なドラマが繰り

広げられています。上手いかわないことが多いと思います。それでも、何とか課題を解決できるように仲間とともに悩み、苦しみ、時には喜び、また悩み・・・と、その過程が実は大切なのです。悩むことはみんなで団結しようとみんなが頑張っているためです。その過程は、もっと先の人生の中で振り返った時、きっと、「ああ、あのときは楽しかったなあ」と思い出す瞬間だと私は考えます。体育大会後の皆さんの振り返りの内容では、苦労したことや頑張ったことなどをたくさん書いていました。そして、最後に「でも、楽しかった」と書いている人がほとんどでした。



今、合唱で苦しんでいる学級がほとんどではないですか。まだ、時間はあります。仲間と取り組んでいるその「過程」を、今、この瞬間を楽しんでください。結果は過程の後に必ずついてきます。たとえ、思うような結果とならなかったとしても、それは皆さんの素晴らしいかけがえのない財産となり、これら先の皆さんの人生の中で生きてくるでしょう。

さあ、残りの時間、もうひと踏ん張り、もがき、苦しみ、みんなで前へ進もう。



「過程を大切にしていれば、おのずと『結果』はついてくる」

Uozumi Heros and Heroiens ever must win! 「前へ！ Go forward!」